

2013.8.17



# 暑い暑い！－革命の音楽と革命的な音楽



## プログラム

連日暑い日が続いています。今日は「暑い暑い！－革命の音楽と革命的な音楽」と題して、革命という名の付いた曲、革命を題材にした曲、音楽史の上での革命的、革新的な曲を集めてお聴きいただきます。

「アンドレア・シェニエ」は18世紀後半の革命前後のパリを舞台にした、ヴェリズモ（現実主義）・オペラの傑作です。ショパンのエチュード「革命」は1831年ロシアのワルシャワ侵攻に対する革命が起こった時に、絶望と怒りを込めて作曲された作品として知られている名曲です。「春の祭典」は1913年ロシア・バレエ団の委嘱によって作曲され、初演時には大スキャンダルを巻き起こした作品で、これまでの伝統的な作曲技法を打ち破り、複雑なリズムと暴力的な音響、荒々しい原始的な音楽で支配されていますが、今や20世紀音楽に革命を起こしたと言っても良い古典的傑作となっています。シューベルトの歌曲は、このジャンルで音楽史上最も重要な位置を占めていますが、ピアノの扱いが単なる伴奏という枠にはまることなく、歌と同じように情景や心情を表している点で、革命的と言えるでしょう。今日はその代表として「魔王」と「冬の旅」から3曲を聴いて頂きます。ショスタコーヴィチの交響曲第5番は、一時期「革命」と呼ばれていました。旧ソヴィエト革命20周年の年に初演されたことによるものですが、現在は殆ど使われていません。むしろショスタコーヴィチにとっての革命的な交響曲になったのではないのでしょうか。それまでの批判的な批評を乗り越え生まれた傑作交響曲だからです。暑い日に聴く、熱い音楽をお楽しみください。

\*\*\*\*\*

### エンベルト・ジョルダー / (1867~1948): 歌劇「アンドレア・シェニエ」～

#### 第1幕 “ある日青空を眺めて” / 第1幕 愛の二重唱 “この像のところで”

マリオ・デル・モナコ (テノール) … シェニエ / レナータ・テバルデイ (ソプラノ) … マドレーヌ  
フランコ・カプアーナ 指揮 NHK 交響楽団  
(1961. 10.1 東京文化会館大ホールでのLive)

#### 第4幕 “五月の晴れた日のように”

プラシド・ドミンゴ (テノール) … シェニエ  
ネルロ・サンティ 指揮 ウィーン国立歌劇場管弦楽団  
(1981.4.30 ウィーン国立歌劇場でのLive)

### フレデリック・ショパン (1810~1849): 練習曲第12番ハ短調 op.10-12 “革命”

エフゲニー・キーシン (ピアノ)  
(2010.2.27 ワルシャワ・フィルハーモニーホールでのLive)

### イゴール・ストラヴィンスキー (1882~1971): 舞踊音楽 “春の祭典” ～ 抜粋

ヘルベルト・フォン・カラヤン 指揮 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団  
(1971.9.25 ベルリン・フィルハーモニーホールでのLive)

\*\*\* 休憩 \*\*\*

### フランツ・シューベルト (1797~1828): 歌曲 “魔王” D.328

ディートリッヒ・フィツシャー・ディースカウ (バリトン) / ジェラルド・ムーア (ピアノ)

### 歌曲集 “冬の旅” D.911～おやすみ / 菩提樹

ディートリッヒ・フィツシャー・ディースカウ (バリトン) / アルフレード・ブレンデル (ピアノ)  
(1989.6.28 フェルトキルヒ、シュタットサールでのLive)

### 歌曲集 “冬の旅” D.911～つじ音楽師

ペーター・シュライアー (テノール) / アンドラーシュ・シフ (ピアノ)  
(1988.6.25 フェルトキルヒ、シュタットサールでのLive)

### ドミトリ・ショスタコーヴィチ (1906~1975): 交響曲第5番ニ短調 op.47 ～ 第1楽章から、第3楽章、第4楽章

小澤征爾 指揮 サイトウ・キネン・オーケストラ  
(2006.9.11 松本文化会館大ホールでのLive)